



NWS通信

Nurse(看護)・Wellbing(福祉)・Special(専門)

第 69 号

平成24年8月31日

発行所

駒沢看護保育福祉専門学校

岩見沢市9条西3丁目 〒068-0029

TEL (0126) 25-0300番

印刷所 K&K 組合印刷

最後に・宗教ということ



学校法人駒沢岩見沢学園

理事長 山 本 光 風

世界三大宗教の歴史的流れをここでは挙げておこう。

①キリスト教 世紀前後、ユダヤ教

から誕生。旧約聖書から新約聖書への移行。弟子たちの伝道布教の実態を明らかにし記録した福音書を収録したもの。11世紀にカトリックと東方正教会に分かれ、15世紀、カトリック（ローマ法王）からプロテスタントが生まれ現在に至る。教会を越えて直接神へ向き合うほか、近代精神の土台となった。

アメリカは、プロテスタントの立国。

②イスラーム教 7世紀に誕生し

コーランを聖典とする。まもなくスンニ派とシーア派の二つに分かれ現在に至る。原理主義派の一部がイスラーム教を狂信的に守るための武力闘争に入っている。

③仏教 インドのバラモン教から

独立して前5世紀頃に成立し大乘仏教と上座部仏教に分かれ、これを南方仏教（スリランカ、ミャンマー、タイ、インドネシアなど）として伝えられた。大乘仏教は、出家者だけでなく在俗の人々をも仏教に導き、多くの仏、菩薩を信仰する立場。主

に北方仏教として、チベット（密教）と結びついたチベット仏教、ブータン、モンゴル）、中国大陸、朝鮮半島、日本へと伝わり、今日に至っている。インドには多神教のヒンズー教が民俗宗教として残った。

日本へは正式には聖徳太子の時代に伝播され、人心の和合、政治の仕組みなどに活用された。

平安末期から鎌倉時代にかけては、天変地異、末法思想の影響を受け主に阿彌陀如来の信仰が大きくなり、この時代から多くの民衆を救済しようと新興仏教が起きた。他

力本願と自力本願の違いが説かれたが、どちらも同じように実行は難しいのである。前者を浄土系、後者を禅宗系が占めるが優劣をつけた言葉ではない。

やがて中世からは日本らしい神と仏を一体化させて観る神仏習合が称えられ、明治期に入る。近代化の混乱の中、多数の仏教が再び誕生したが戦後も含めてこれらには新しい教義はなく、伝統仏教の転用がそのほとんどである。三大宗教の流れが理解されたことと思う。

自己決定能力



駒沢看護保育福祉専門学校

学校長 木 原 キヨ子

「自ら決定する力を持つ」ことは容易なことではない。本稿では日々の生活や生きる態度を想定し述べようと思います。

ある日曜の朝、(約三十年前)であつたと思います。テレビ放送「題名のない音楽会」(HTB9時)で、故美空ひばりは、歌劇「ブッチーニ作曲」のアリア一曲を歌いました。聴衆の盛大な拍手と指揮者の音楽的高い評価が語られました。私は美空ひばりは流行歌手であり、クラシック音楽より低いと評価していました。あまり聴いていなかったのですが、この時ばかりは、「さすがプロ」と感動いたし、プロフェッショナルについて考える機会となりました。故美空ひばりは、楽譜は読めないのに、レコードを聴いて発声することを繰り返して楽譜と変わらない歌曲として表現出来たことを後になって知りました。ジャンルの異なるクラシックにチャレンジすると「決意する勇氣と努力」を続けられるのは、才能だけではない「プロ意識」のなせる業であ

ると思います。プロフェッショナルに備わる力をもちあわせているから自己決定出来るのです。

民主国家の国民である私達は、自由、平等な社会に生きています。社会の秩序を保つためのルール、法的規制の範疇に於いてではあるが、いかに生きるかは、自己決定に委ねられています。決定の基となるのは良心であり個人的な情緒を押し付けるものではない。「良心とはConscience」と英語ではサイエンスが含まれると解釈します。科学的な知識、技を身に付け用いることです。」

自己決定能力を持つと言うことは、自己との闘いであると中国清朝の名宰相であつた曾國藩(一八一

一七二)の教訓です。

「冷に耐え、苦に耐え、閑に耐え、激せず、従わず」この意味は、意見、法律、習慣などに逆らわず守り、幸せや目的達成を急がず、ご苦労に耐える姿勢を伝えていけると解します。

専門職業人を目指す皆さんは、良心ベースの自己決定に努められる人と信じます。共に努めましょう。

保 育 科



学校生活を振り返って

34期生 二学年 北野 槿子

進級しおよそ半年が経ちました。二年生になって一層、講義内容が高度になり、より専門的な学びになっています。今後ますます内容が深まり、難しさを感じると思いますが、保育士として必要な知識を身につけ、さらに理解を深めるため努力していきたいと思います。また、学級においては、去年に

に進歩していきたいと思っています。

実習を終えて

34期生 二学年 伊藤 早耶香

私は今回の実習を通して、たくさん利用者さんと関わり、いろいろなことを学びました。職員の方が利用者さんにとって何が一番良いか考え、利用者さんの気持ちを汲み取った援助方法を工夫し、接している姿を見ることが出来まし

比べ結束がさらに強まり仲間意識が深まっていると実感しています。一つの理由として入学してから今日まで、学校生活の中で様々な学級活動、行事を通じて共に喜び、辛さや達成感を経験したことが、一人ひとりの意識を変えたと思います。これから、二年生としての学級活動を通じてますます相互理解を深めて切磋琢磨し、学級一丸となって何事にも負けずに取り組んでいきたいと思っています。そして互いに励まし合い、協力しながら将来に向けて、共に進歩していきたいと思っています。



た。そして、自分も実施し試してみの中で、利用者さんの性格や特徴を把握し、一人ひとりに合った援助をすることが大切であるということを学びました。また、実習を終えて、自分ひとりの力ではなく、たくさんの方に

支えられ、実習を終えることが出来たと感じています。指導してくださった先生方、実習を引き受けてくださった施設の職員の方や利用者さんに感謝し、実習で学んだことを保育・福祉に携わる者として、今後の勉強や実習に生かせるように日々努力していきたいと思っています。

保育専修科に入学して

33期生 保育専修科 源内 弘美

3月に保育士課程を修了し、保育に関する専門的な勉強を重ね、保育士資格を取得することができました。

4月から専修科に入学し、これからの1年間は幼稚園教諭2種免許状を取得するため、また多くの資格を取得し、即戦力になれるよう努力していきたいです。

5月に2週間の幼稚園実習を終え、部分実習や完全実習を経験しました。その中で一人担任の大変さを感じ、また子どもたちと関わる様々な場面の中で子どもたちが楽しみなが

ら活動出来るような工夫をするこの大切さを学ぶことが出来ました。

今後は、児童館実習や2回目となる幼稚園実習、ホームヘルパー実習等が控えています。

充実した実習となるよう事前準備をすること、前回の実習での反省を活かし、自分が目標としている保育者になるという夢に向かって精一杯努力して行きたいと思っています。



看護第二科



護の実施に繋がるのではないかと
思う。また実習中は、メンバー同
志で悩みを相談したり、知識不足
な部分を一緒に調べたりしており、
私にとってメンバーの存在は何よ
りも大きな支えとなっている。こ
れらの患者さんやメンバーとの関
わりを通して、私は看護における
コミュニケーションの大切さを実
感している。

最後に、共に学び合う仲間達と
一緒に、「全員、国家試験合格」を
目指し、残りの実習・学習を精一
杯努力していきたい。

各論実習での学び

16期生 二学年 新津彰二郎

四月から各論実習が始まりあつ
という間に半年が過ぎようとして
いる。

私は、実習で患者さんに必要な
援助を考え実施するために、患者
さんとのコミュニケーションを大
切にしている。何気ない会話の中
でも患者さんの表情・言動・態度・
声のトーン等の非言語的な部分も
観察し、患者さんの思いを少しで
も理解することが個別性のある看



入学して

17期生 二学年 青沼 智美

私たちが入学してから早くも
二ヶ月が経ちました。様々な年齢
層や経験をされた方々がいるなか、
新しい環境で自分は学んでいける
のだろうかと不安なときがありま
したが、今はクラスの雰囲気にも
慣れ、日々の学校生活を過ごして
います。

授業では、准看のときとは違い、
学習する内容がさらに濃く、常に

まし合いながら、学びの幅を広げ
ていきたいと思っています。

入学して

17期生 二学年 川淵 一世

看護第二科の学生の特徴は様々
な経験や経歴があり、准看護師の
資格を持ちながら、もっと学びた
いと思った者が集まっていること
だと思います。私自身もしばらく
振りに学校生活を送り、講義では
深く広い内容に一杯になりながら

根拠が求められて
います。実技の演
習においては、過
度な緊張により、
思うようにいかな
いことがあります
が自分を客観視で
きる機会でもある
ので、自己の課題
を明確にして次に
つなげていけたら
と思っています。

今後、基礎看護

学実習や、各論実
習へと向かい今以
上に変なななつて
くると思っています。
そのような中でも
自己の学びを深め
られるよう同じ目

標を持つ仲間と励

も、クラスメートに刺激され、必
死に頑張っています。忙しい毎日
を皆で共有しながら、一步一步看
護師への道を歩んでいるのだと実
感しています。

看護第二科は、私達17期生入学
を最後に募集停止となり、私達が
最後の卒業生となる予定です。少
し寂しい気持ちもありますが、全
員笑顔で卒業できるように、クラ
スメートと支え合いながら学校生
活を過ごしていきたいと考え、ま
た沢山の思い出を作りたいです。

入学時に抱いた目標や向上心を
忘れず、自分の理想とする看護師
となる様、残りの学校生活も精
一杯過ごしたいと思っています。



看護第一科



岩見沢という土地を選択し、同じ目標を掲げて共に勉学に勤しむことに意義を感じる毎日である。

今は、看護師の何たるかを学び、不易流行が顕かであるこの医療という場に於いて、継続的学習の必要性が推して知るべしであるのと同時に、その姿勢を堅持していくための準備をしななければならないと痛感している。

そして、僅か数ヶ月ではあるが、学内

看護学校に入学してからとこれから

4期生一学年 早川 幹宏

それぞれに不安を抱きつつも、入学してから早3ヶ月が経過した。明確な目標を持って看護師を目指す者、そうではない者、様々なきっかけや背景を持った41名の人間が、

実習や臨床について学ぶことで、看護師を目指す、人の命を預かるという重責を担う自覚が芽生えつつあり、それを養うこのタイムミングに於いて、日々の学習をどう消化し、体現していけば良いのか、来る夏季休暇を改めて考える良い機会としたい。



学校生活

4期生一学年 穴田 まや

私達4期生四十一人は、入学してからはや2ヶ月が経ちました。最初はお互いが緊張し上手く話せないこともありましたが、最近では緊張も解けクラスが賑やかになってきました。また、私達は「夢に向かってはばたけ未来のナースの卵たち」というスローガンを掲げ、それに向かって日々充実した生活を送っています。

この2ヶ月は色々な行事がありました。四月・五月は初めての学内実習やテストがありました。不安でいっぱいでしたがクラス全員

で頑張ることができました。六月は、ライオンキング鑑賞がありました。また宿泊研修もありました。先生方やクラスの全員と一泊二日を共に過ごすことでお互いを知ることができ、より一層クラスの団結力が深まりました。

二年生になり、解剖生理学実践で循環器系、呼吸器系などの各系統ごとに自己学習し、その成果を発表し人体の構造と機能の知識が深まった。標本館見学では、医療関係者しか見ることのできない標本を間近にし、生命の尊厳の大切さを学んだ。

一年のふり振り返りと課題

3期生二学年 工藤 彩

一年生の基礎看護学

実習をふり返ると、受け持ち患者さんの笑顔や感謝の言葉で看護師の仕事にやりがいを感じた。しかし、援助の技術不足やコミュニケーション不足、能力不足、知識不足、個性性を捉える難しさを痛感し、クラス全員が自己の課題を自覚できた。

「解剖がわからない」と病態がわからないと看護がわからない」という先生方の言葉の大切さが身にしみた。



絆を深めた3年目

2期生3学年 中 はるか

現在、3年生はそれぞれの臨地実習先へ赴き、看護師になるための知識・技術を学んでいます。看護学生として3年目をむかえた私たちは患者様がその人らしくあるような看護とはどういうことかを日々模索しながら実習に励んでいます。

私達2期生は「笑顔で貫け、強い心の駒沢2期生」をスローガンに、仲間達と協力し、時に喜びを共有し、苦しい時はお互いを励まし合い、実習を乗り越えてきました。泣きたい時、辛い時に支えてくれる仲間がいることの大切さ、どんなことがあっても一緒に乗り越えてきた仲間がいることの素晴らしいさと絆の深さを感じることが

できました。この仲間がいるから、強い心を持ち笑顔でいられるのだと思います。

私達は、ご指導下さる教員、講師、実習先の看護師や患者様との出会いや学びを通して、知識・技術のみではなく、思いやりのある看護師を目指し、仲間と共に努力していききたいと思います。



「学友会活動について」

保育科34期生2学年 山名 里英

私達34期生、初めての学友会活動は33期生への進級祝い、祝賀会でした。先輩たちの進級をお祝いするため、いかに先輩たちに楽しんでもらえるか、先生方と相談し、また、学生たちと話し合いを繰り返しながら何とか祝賀会を行うことができました。どうしても良いかわからず、悩むこともありましたが、考え、出したアイディアを

調整し、積極的に行動しながら仲間たちと笑顔で乗り越えることができました。

正直、「大変だな」と思うこともたくさんありました。しかし私たちは今も、そしてこれからも勉強を続けながら、保育士または幼稚園教諭となった時に子どもたちのために活かしていくことができるように、仲間と協力しながら学友会を運営していきたいです。

学友会 活動紹介

「学友会の活動を通して」

看護二科16期生2学年

池田 麻優

学友会では、主に学校行事の企画、運営を行っています。

今年の春には、新入生歓迎会を行い、ビンゴやクイズを通して1年生との交流を深めました。この企画では、入学したばかりの1年生が早く学校生活に慣れることができるようにと考え、先生達に関するクイズを出題しました。グループ毎に和気あいあいと考える姿も見られ、楽しい時間を持つことが出来まし

た。

行事毎にどのような企画を考え、と楽しめるのかを話し合い、景品を選んだり準備をし、当日を無事に終了できた時には、達成感と充実感を得ることが出来ました。

今は各論実習中で1年生と交流する機会が少ないのですが、秋にはスポーツ交流会があります。学生みんなで一緒に汗を流し、楽しめるような企画を1年生の学友会メンバーと共に考え、有意義な時間を過ごしたいと思っています。

「初めての学友会」

看護一科3期生2学年 大嶋 厚史

私は昨年看護師を目指し、この学校に入学し、楽しみな反面、勉強や実習に不安を抱いていた時、新入生歓迎会や実習激励会があった。交流会は、先輩方と交流する中で勉強の仕方や実習についてのアドバイスを受け、とても有意義なものであった。また、行事を進行している学友会の先輩たち以外にも、学友会の委員ではない先輩方が自ら手伝っている姿を見て、私達も助け合っている先輩になりたいと思った。

2年生となり私達が行事の主体となる初めての新入生歓迎会では、時間配分を間違えて開始が10分遅れてしまい、思い通りに進行することができなかったが、先輩たちの助けで無事やりとげることができた。この経験を活かし次からは綿密に打ち合わせをし、1年生が不安に思っていることを先輩に聞けて、楽しめる機会を皆で協力しつくりあげていきたい。

先生 一言

「生きる力を
育むために」

保育科 相澤 美代子



私は、子ども達の生きる力や生きる喜びを育みたいという思いで、13年間保育士として働いてきました。

生きる力とは何か？ 漢字が書ける、計算が出来る、というのも生きていく上で大切な事ではあります。しかし幼児期に獲得すべき力は、自分で考えて行動できる、思いやりの心を持っている；等、人として生きる上で一番大切な部分と私は考えています。

その力は、教え込む事ではなく生活や遊びの中で体得していくもの、だから保育者は生活や遊びを何よりも大切にして日々保育しています。

この度、保育士養成校に勤務する事となり、現場での思いや大切にしている事を学生の皆さんに

少しでも伝えていきたい。そして子どもの未来を考えられる保育者になってほしいと願っています。

私自身初めて経験する養成校での勤務ですから、学生のみならず共に私も成長していけるよう努力していきたいと思っています。

「共生」

看護二科 菅原 和子



4年前専任教員となり、今春は担任として卒業生を送るという経験をさせていただきました。担任という立場で学生とどう関わるのがよいのか、試行錯誤の毎日でした。

卒業時学生から、「先生に勇気づけられた」「笑顔を見ると落ち着いた」などと書かれた手紙をもらい、微力ながら学生の力になれていたことを大変うれしく思い、

教員を続けていく糧となりました。

人は「与える」だけではなく、「与えられている」と言われます。

臨床にいた時には、患者さんやご家族の方々との関わりは、看護師としての成長に繋がっていたと思います。立場は変わりましたが、教育の場でも同じことが言え、自分が学生に教えることで成長する、「共生」が人を育てるということを実感しています。

これからも、学生と真摯に向き合い、笑い、泣き、考えながら共に成長して行きたいと思っています。

「4期生の
担任になって」

看護一科 千葉 祐子



平成21年の看護第一科開設時から勤務し初めて担任をする事になったのが4期生である。

新生を迎えるにあたり、学生

に受け入れてもらえるだろうかなどいろいろなことを考えた。

入学式当日、4期生の前に立ち全員の顔を見て挨拶をした時、1年間責任を持ち担任を務めなければならぬと改めて思った。

4期生は明るく元気で仲が良い。明るく元気な面を患者との関わりに、仲が良い面を辛いことがあっても協力し合い乗り越えられるクラスになってほしいと思う。卒業するまでの3年間のうちの3分の1を私と共に過ごす4期生に對してできることは何かを常に考え、支えていきたい。しかし、現実には学生に支えられていることが多い。

5月から臨地実習引率のためクラスを離れる日がある。何日か振りに教室に入り学生の顔を見て会話をすると元気がもらえる。看護師を目指し努力している4期生のパワーを少しもらい、教育の先輩である諸先生にご指導いただきながら担任を務めていきたい。

平成25年度 学 生 募 集 要 項 看護第一科 (昼間3年課程)

出願形態	試験日	出願期間	選考方法	合格発表
指定校推薦入試	平成24年 12月 8 日(土)	平成24年 11月19日(月)～ 平成24年 11月30日(金) (当日消印有効)	(1)面接 (2)小論文	平成24年 12月12日(水)
一般推薦入試			(1)面接 (2)国語総合(古文・漢文除く)	
一般Ⅰ期入試	一次 平成25年 2月 9 日(土)	平成25年 1月14日(月)～ 平成25年 2月 1 日(金) (当日消印有効)	(1)国語総合(古文・漢文除く) (2)英語Ⅰ・Ⅱ (3)数学Ⅰ・A ※社会人は(1)のみ。(2)(3)は免除	平成25年 2月11日(月)
社会Ⅰ期入試			面接(一次合格者のみ)	平成25年 2月19日(火)
一般Ⅱ期入試※ 社会Ⅱ期入試※	平成25年 3月10日(日)	平成25年 3月 1 日(金)～ 平成25年 3月 4 日(月) (当日消印有効)	(1)国語総合(古文・漢文除く) (2)英語Ⅰ・Ⅱ (3)数学Ⅰ・A (4)面接 ※社会人は(1)のみ。(2)(3)は免除	平成25年 3月11日(月)

試験会場 駒沢看護保育福祉専門学校 看護科校舎 〒068-0029 岩見沢市9条西3丁目1-15
※定員に達した場合、実施しないことがあります。詳細については入試係までお問い合わせ下さい。